

報道各社御中 ← 環境省広報室

愛知県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急調査チーム
による調査の結果について
(H29.1.19 15:00)

愛知県豊橋市において1月3日に回収されたヒドリガモ1羽、西尾市において1月4日に回収されたホシハジロ1羽の死亡個体から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、1月17日(火)から1月19日(木)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

○1月17日から19日にかけて、愛知県豊橋市及び西尾市の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内の、渡り鳥の飛来地等の計24地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

○調査チームの派遣期間内に、愛知県及び静岡県による当該10km圏内の監視においても検査対象となる死亡個体の回収等の異常は確認されなかった。

なお、調査チーム派遣期間内に西尾市内の野鳥監視重点区域内において愛知県が回収した死亡野鳥個体(2体)については、すべて簡易検査陰性であった。現在、国立環境研究所にて遺伝子検査中。

(参考)

○観察された鳥類 62種

うち、リスク種1 4種(キンクロハジロ、ハイタカ、オオタカ等)

リスク種2 11種(スズガモ、ユリカモメ、オオバン等)

リスク種3 17種(ヒドリガモ、コガモ、カルガモ等)

○愛知県により回収(17日、18日)された死亡個体

リスク種2 ホシハジロ 2体

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、愛知県及び静岡県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成 29 年 1 月 19 日 (木)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

中部地方環境事務所野生生物課

直 通：052-955-2139

課 長：酒向 貴子

広域鳥獣保護管理専門官：齋藤 佑介